

平成 30 年度神戸大学経済経営研究所公開講座 募集要項

講座のテーマ：古文書読解講座—中級者から上級者向け—

講師：神戸大学経済経営研究所 准教授 高槻泰郎

講義会場：神戸大学経済経営研究所・新館 2 階会議室（末尾に地図を添付）

開講期間：平成 30 年 9 月 13 日（木）～27 日（木）の毎週木曜日、計 3 回

開講時間：各回、午後 1 時半より午後 3 時まで

開講対象者：

御家流に代表される一般的な毛筆のくずし字について読解経験がおありの方

※未経験者の方は対象とはしておりません

※学部生、大学院生については未経験者も歓迎します

募集人員：30 名（先着順）

受講料（3 回分）：5,300 円（神戸大学の学部生・大学院生は無料）

受講申込受付：平成 30 年 7 月 2 日（月）～8 月 31 日（金）

※教材準備の都合がございますので、当日の参加受付は致しません

※定員に達し次第、募集を打ち切らせて頂きます

受講申込方法：

上記の受付期間内に、下記メールアドレスまで、E メールにて、①氏名（読み仮名）、②郵便番号、③住所、④学部生・大学院生の方は所属機関、⑤これまでの古文書学習の履歴など（任意）をお寄せ下さい。申し込みを受け付け次第、受講料の振込依頼書（郵便局）をご指定の住所にお送りしますので、所定の金額をお振り込み下さい。お振り込みが確認できましたら、受講証をハガキにてお送りしますので、当日ご持参下さい。

講座の内容に関するお問い合わせは、全て E メールにて受け付けます。電話・FAX での受付はしておりませんので、あしからずご了承下さい。

申込先・お問い合わせ先

神戸大学経済経営研究所 古文書読解講座担当

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 2-1

E-mail: tj-assistant@rieb.kobe-u.ac.jp

※メールアドレスの一部（ac.jp の前）に、アドレス収集ロボット対策として半角スペースが挿入されております。メールアドレスご使用の際には、適宜修正願います。

公開講座開催概要

本公開講座は、古文書読解スキルを既に一定程度持っている方を対象に、さらに専門的な技術を身につけてもらうことを目的として開講するものです（学部生、大学院生については初学者も歓迎します）。

教材に用いる古文書は、神戸大学経済経営研究所が所蔵する「廣岡家文書」です。廣岡家（加島屋久右衛門）は、NHK 朝の連続テレビ小説「あさが来た」でモデルとなった大坂豪商で、様々な大名の資金繰りを支えたほか、江戸幕府の経済政策も資金面、知識面で支えた重要な商家です。

本公開講座では、廣岡家が活躍した江戸時代の大坂市場について講師が解説し（第1回、9月13日）、それを踏まえた上で、大名との借財交渉の生々しいやりとりを伝える史料を使った実習（第2回、9月20日）、そして廣岡家を豪商へと成長させた中興の祖・4代目加島屋久右衛門の遺言状を使った実習（第3回、9月27日）を予定しています。

受講に当たってご用意頂くもの：

- ・受講証（ハガキ）
- ・筆記用具

※教材、筆耕用の原稿用紙、『くずし字用例辞典 普及版』（東京堂出版）は当方で用意します。

講師からのメッセージ：

古文書読解は、くずし字を翻刻できたらそれで終わり、というものではありません。大事なことは、その古文書に書かれていることをできる限り正確に読むこと、言い換えればできる限り執筆者の同じ目線で読むことです。そのためには、くずし字を読むというだけではなく、その古文書が書かれた背景についての知識が大変重要になります。

本公開講座は、くずし字で書かれた古文書を使った演習を行いますが、講師自身が研究を進めている大坂市場についての講義にも多くの時間を割きます。古文書読解の経験がおありの方で、ただ文字を読む（翻刻する）だけでは物足りない、と思っておられる方々のご参加をお待ちしております。

また、講師自身も含め、「半教半学」の精神で、参加者相互で教え、導き合いながら「廣岡家文書」に広がる大坂豪商の世界を楽しみたいと思っております。学生の方々については未経験者も募集しますので、未経験者への指導にも積極的に取り組んで頂ける方々のご参加を歓迎致します。

会場：神戸大学経済経営研究所・新館 2階会議室



[最寄り駅から]

- ・バス：阪神「御影」駅，JR「六甲道」駅，阪急「六甲」駅から
神戸市バス 36 系統鶴甲団地行、または鶴甲 2 丁目止まり行き乗車
「神大正門前」もしくはその 2 つ先の「六甲台」バス停車
- ※駐車場のご用意はございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います